



今回は、相澤病院が指定を受けている「地域がん診療連携拠点病院」についてご紹介します！



地域に密着した がんの専門病院！

地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるには、専門的な知識・技能をもつ医師や医療従事者が常駐していること、がん相談支援センターを設置しているなどの体制があることが条件にあります。

また、地域の医療機関（病院や開業医）からの紹介で患者さんを受け入れ、患者さんの治療・治癒

に応じて地域の医療機関と適切な連携を取っています。

＊生活圏のこと

厚生労働省では

「誰一人取り残さないがん対策」を掲げ、がん医療の均てん化（地域差・医療格差の是正）と集約化（医療の効率化・質の確保）を柱とする体制を進めています。がん医療の質を維持・向上させつつ、将来も持続可能な体制を作るとしています。具体的には、〈1.高度医療は集約化〉〈2.標準医療は均てん化〉〈3.広く提供できる医療は可能な限り地域で提供〉となっています。

「均てん化」と 「集約化」の両立が基本

国は、地域ごとに「高度ながん医療は集約し、標準的・普及的な診療は広く均等に適用する」という体制を目指しています。

○高度な手術や専門治療→都道府県単位または複数県に集約する。

○がんゲノム医療など*標準的治療→がん医療圏単位で「均てん化」を図る

*現在利用できる最良の治療で推奨される治療のこと

○がん健診や**支持療法など広く提供可能なもの→できる限り多くの医療機関が担う方針

**患者さんの生活の質を向上させるための治療やケアのこと。

長野県でがんに対する 診療を行っている病院は？

★都道府県がん診療連携拠点病院
(県内の中心的役割) → 信州大学医学部附属病院

★地域がん診療連携拠点病院(各二次医療圏で*中核的治療を提供)

→ **相澤病院**/佐久医療センター/長野赤十字病院/長野市民病院/諏訪赤十字病院/伊那中央病院/飯田市立病院

★地域がん診療病院(より身近な高度医療の窓口) → 北信総合病院/長野県立木曽病院/あづみ病院

★小児がん連携病院 → 長野県立こども病院

*複数の診療科や高度な医療機器を備えた病院で、地域の診療所や病院と連携している。

